

平成の大合併、それは

2005（平成17）年7月1日（金）にあった。次の2日（土）、新浜松誕生記念ウルトラマラニック160kmを走る人に出会い、萩田さんを知った。

次の年

2006（平成18）年8月1日に技能員研修が磐田西高校で行われるので、私は浜松のビジネスホテルに泊まることにした。次の朝、浜松駅南口から一人で佐久間町半場にある家まで走ろうと考えた。

朝の五時、浜松の駅南は静かだった。駅に向かう人にデジカメで写真を撮ってもらいスタートした。

浜松駅から西へ進みずから国道152号線を北に曲がった。あとは、この国道152号線をひたすらに北上する。

浜北までのバイパスが長い。車ではあつという間の道程ではあるが自分の足で走るとなると、長い道のりだ。遠鉄電車が交差するところで、国道も左に折れる、天竜川に架かる鹿島橋、初めて走る鹿島橋の歩道、天竜浜名湖鉄道の電車が見える。

旧天竜市にはサークルKがあり、最後のコンビニだった。船明ダムの湖岸を走り、道の駅「花桃の里」で休憩した。家にメールで「今花桃の里、ようやく半分の距離」と送信した。「迎えに行こうか」と帰ってきたが「何とか走る」と返信した。

秋葉ダムでそのダムの堰堤を渡り、その公園で休憩した。そのとき自転車に乗った84歳の人と話した。

「会社を経営していて、身体を動かさないと良いアイデアが浮かばない」そんなことを話していた。

秋葉ダム桜マラソンのコースを走る。知って道だ。一キロごとの距離表示がある。瀬尻橋のところまで通行止めの標識があった。上平山へと迂回のコースを走った。お昼には帰れると思ったけど家に着いたのが16時だった。

16時間の旅だった。

人は繋がりの中で生きている。100人いれば100通りの人生がある。過疎に悩む村もそうだ、それぞれの悩みがある。過疎の村も繋がりを持って手を取り合って過疎に負けない村をつくっていかねばならないと思う。

ハンド・イン・ハンド、手に手を取り合って生きていけばいいと思う。

